

2022 年秋学期/ユタ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

grammar, reading, writing, listening・speaking の4つに分かれています。基本、中学高校レベルのものが多かったですが基礎を見直すという意味でも勉強になりました。クイズが頻繁にありましたが、その前にはゲームで振り返りをしてくださったので楽しく勉強できました。事前に受けたテストの結果によってクラス分けされるので置いていかれる心配はありません。

日本の中学等などかわらず、教科書などを購入して、その内容にそって進められていた。

私のレベルは2で授業内容は、grammar, reading, writing, speaking & listening に分けられた授業形態でした。レベル2の内容的には中学生で習った文法だったので簡単でしたが、その文法を使って writing と speaking に活かされたので身についたとおもいます。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

人数は15名ほどです。比率は外大生以外にも関西大学の学生がいたので半々くらいの比率でした。留学生の出身国は中国、韓国、エクアドル、コンゴ、チリ、ブラジルなどです。

日本人5割中国人4割その他の外国人1割。

ELI 自体にはたくさんの国からの留学生がいて、中国人と日本人が多かったと思います。私のクラスには、基本中国人と日本人しかなく授業によってコロンビア人がいました。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

私のクラスはクラス人数の半分が中国人だったので好き勝手に発言する人が多いように感じました。日本の大学ではあまりゲームはないですがアメリカの授業ではゲームをして覚えたりするのが多かったです。また、自分の意見を述べないといけない場面が日本の授業より多いように感じました。

基本的に、落ち着いてはいたが発表の時などでは、みんな、自分の意見を述べており、そのときは、賑やかな雰囲気であって、メリハリがある雰囲気であった。

日本人と中国人のクラスで、日本人はまじめに授業を受けてたんですが中国人は授業以外の事をやっていて全然集中していませんでした。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

世界が変わった職業についての動画を見てそれについて意見を述べるという speaking の授業です。ペットフード試食員などとても珍しい仕事がたくさんありおもしろかったです。

アメリカでのマナーの違い

全て楽しかったんですが、特に印象的なのは reading の時に読んだ中国のパンダの話です。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

できるだけ積極的に発言するという事です。思ったことを発言して例え間違えていたとしても先生は必ず褒めてくれました。恥ずかしさを捨てて発言することによって英語の表現の仕方も増えたように感じました。

自分の意見は積極的に述べるようにしたり、先生などが話した英語のわからないところは先生に聞いてみたり、自分で調べたりするようにしていた。

授業で先生が説明していることを集中して聞きました。教科書に沿って進めることが多かったので、教科書にメモを書いたり、初めて知った単語をたくさんメモしました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人 (3人)	

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス (3人)	45分～60分 (1人)	ホームステイ先
	60分～75分 (1人)	
	75分から90分 (1人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
机、椅子、ベット、タンス、鏡	シャンプー、リンス、ボディーソープ、洗顔、歯ブラシ、服
イス、机、ベッケー式	歯磨き用具、ハンガーなどの洗濯用具。
自分専用の部屋を用意してくれて、そこにはトイレとお風呂場がありました。ベッド、勉強机、クローゼット、ドライヤーがありました。	化粧品、シャンプー、リンス、歯ブラシ、衣類

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

シャワーの出し方が違ったこと、洗濯は週に一回だったこと、賞味期限が10年過ぎていても食べてと言われたこと。

食事をする時間や、お風呂などの入浴時間、またクワイエットタイムというものがあり、夜の10時以降には音を極力立ててはいけないというものがあった。

生活の制限がなかったので戸惑ったことはありませんが、食事面では日本と味付けが違うので慣れるまでは大変でした。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

まずは到着した日に荷解きを終わらすことです。あとは、配置を考えたりすることです。ドライヤーがない家だったので日本から持って行けばよかったなと思いました。分からないことがあれば初日に聞いたりルールなどがある場合はしっかり把握しておいた方がいいと思います。家族との信頼関係にもつながります。

何かして欲しいことやホストファミリー等とやりたいことがある時は積極的に自分から言うことが大切である

ホストと積極的にコミュニケーションをとることが大切だと思います。

パソコンは持参 しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい (3人)	日本からSIMカードを持参 (3人)	LANケーブルで可能 (1人)	いいえ (3人)
いいえ (0人)		ワイヤレスで可能 (2人)	

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
週末に大学のアクティビティがあったので数回参加しました。少し運動するためにジムに行ったりスーパーに行ったりたくさん買い物してりました。	ジム、スーパー、マクドナルド
大学主催のイベントなどは夜型に多くあったがそこまで数は多くなかったため、殆ど行っていた。語学学校の中のイベントには参加できていないものもあったが、アメリカ人など外国人などと交流できるものは参加するようにした。	学校内にあるビリヤードやボウリングなどの施設、学校内のショッピングストア等。
友達と過ごすことが多かったです。ジムやショッピングモールに行ったりしました。大学のイベントも毎週ありました。	学校のジムと図書館によく行きました。学校の近くにスタバもあったので学校終わりによく行きました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
荷物の準備はしましたが、英語に関しては少し単語を覚えていました。
英単語等の復習、現地のことについて学んでいた。
日常会話に必要な例文を覚えた。

留学前にしておけばよかったと思う準備
語彙力を上げて行けばよかったと思いました。
英会話の練習。英単語の予習。
冬物をもっと持っていけばよかったと思いました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本の包装紙で包まれたお菓子を渡したらとても喜んでもらえました。日本の紙は素晴らしいと言っていました。とても乾燥している地域だったので保湿クリームはとても役に立ちました。お味噌汁や緑茶も貴重な日本食でした。
お風呂の時の用紙のボディータオル、日本からの洗顔や化粧水など。あとは日本からのお土産等。
日本からのお土産

日本から持っていく必要のなかったもの
大量のマスク、服もこだわらないのであれば大体のものは買ったので大量にはいらなないなと思いました。
味噌汁などの多くの食品。
バスタオル

日本から持参すればよかったと思ったもの
のど飴、ドライヤー、ダウン、お茶漬けの素
日本のお菓子など。
洗顔、シャンプー、ヘアオイル

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
現金、クレジットカード	私は現金メインで行ったので、日本円で20万円分をドルに変えました。クレジットカードは旅行のホテルや飛行機代を支払うのに主に使いました。しかし、カードしか使えないお店があるので注意しなければ行けません。
クレジットカード2枚、現金少々。	クレジット2枚上限30万、現金4万円。
現金、クレジットカード円安だったのであまりクレジットを使わないようにしました。	日本円で15万くらい持って行きました。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
住居費は0。食費も基本家で食べていたのでいらなかったですが、外食もしたので留学全期間で200ドル前後だと思います。	テキスト代は全て含めて日本円で6万円ほど。通学費は学生証があったのでかかりませんでした。
住居は5万円ほど、食費は外食が多かったため15万円程、	テキスト代は約300ドル・通学費は大学のカードでバスが乗れるため、無料。
学費に含まれていたのかわかりません。	テキスト代が2万円くらいで、通学日はバスがありました。

旅行した期間、行先、手配方法
カリフォルニア、日本円で円高だったこともあり約10万円、格安航空機を利用、インターネットを使って自分たちで全て予約しました。
ロサンゼルス・1週間程度・交通費3万円程度、宿泊3万円ほど、観光で6万円程、その他お土産等で、6万円程、友達とお金を出し合っていた。
最初のセメスターが終わった後に10日間の休みがありました。そこで友達とロサンゼルスに行きました。手配方法は格安のサイトで口コミを見ながら予約しました。安すぎる場所は汚かったり安全性にも問題があるのでしっかり調べて予約したほうがいいと思います。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
旅行に全て含めて10万円ほど使いました。買い物などはお土産がほとんどで3万円ほど使いました。
ロサンゼルス旅行に、10万円程、服代4万円、お土産代で11万円程。
20万

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
はじめは、生活していくなかでの英語でも通じないことが多くあったが、自分から積極的に英語を使っていくようにしていくことで、英語に慣れることができて、アメリカ人等にも通じるようになることができた。
最初は受け答えさえもままならない感じでしたが最後は会話ぐらいなら成立するようになりました。

文法は復習になりました。それ以外の技能はネイティブの発音や、会話を聞いて自分の能力向上につなげることができたと思います。

留学前の目標とその達成度

留学前までは英語の向上が目標としていたが、留学が終わってからは、語学力だけでなく、シャイだったなどのマイナスな自分の性格面でも上がることもできた。

留学前の目標は恥ずかしくないです。最初は緊張などで全然ダメでしたが生活にも慣れてきてコミュニケーションを取ることができたので達成度は75%です。

意外と現地の人と友達にはなれませんでした。ホストとコミュニケーションが取れて speaking の力とリスニングの力が伸びたのでまだまだですが成長できたと思います。

留学を通しての成長ポイント

シャイだった性格だったが、社交性とコミュニケーション能力を学び自分として成長することができたと感じる。

自分で考えて困った時に人に頼らずに自分で解決できる力が身につきました。日本にいたときよりも何事もしっかり考えてから行動するようになりました。

自信と積極性が身につきました。現地の人とコミュニケーションが取れた時に自分の英語力が伸びたと感じたし、友達をつくる時に積極性が身についたと思います。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前、ちゃんとできるかどうかの不安・留学中 自分のできないところの認識と、それを改善するための向上意欲・留学後・これまでに学んだことを活かしていこうと思った。

留学前はすぐあきらめる癖がありましたが日が経過していくにつれて英語でコミュニケーションをとれたら嬉しくなりモチベーションは上がりました。

コツコツ勉強したら英語力が向上するとわかったし、周りの日本人が英語を流ちょうに話していたらすごいと感じたので私も頑張ろうとおもいました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

授業での発表の時

バスに乗るときに迷ってしまって知らない人に声をかけて話しながら案内してもらったことです。

LA へ旅行した時です。周りに助けしてくれる人がいないときに道を尋ねたり、ユタと環境が違う場所で行動した時です。

留学先大学の良かった点

世界中からたくさんの学生が通っているため、多くの他の言語などを学べる。

施設がとても充実していた。施設ひとつひとつが日本と規模が違いとても良い環境で勉強させてもらっているなと感じました。

先生たちも優しく、授業がわかりやすかったです。